

新型コロナウイルス 感染症でお困りの方は ご相談ください!

区民の皆様へ「コロナに負けるな!」

学校の一斉休校から始まり、国による緊急事態宣言以降、外出自粛や施設の休業、更に行政サービスの縮小など、ご不便をおかけしております。どうか新型コロナウイルス感染症拡大抑制に、更なるご理解とご協力をお願いいたします。

豊島区では全庁をあげて、区民の皆様をお守りしなければならぬとの強い決意で臨んでおりますが、先の見えない戦いでもあります。

区民の皆様には、長期化する今、日常の生活や感染の不安などのストレスが大きくなっていると思います。

「何かお役に立てないか、解決できることがないか」との思いつから、各種の相談ダイヤルを設けておりますので、お気軽にお電話をいただければと思います。

かつて経験したことのないこの難局の一日も早い収束に向けて、皆様、一丸となって乗り越えてまいりましょう。

豊島区長 高野之夫



新型コロナウイルスに関する相談窓口

豊島区では以下の3つの相談窓口を設けています。

感染に関する
ご相談

☎3987-4179

平日/午前9時から午後5時まで

発熱や咳などが続いた場合、また帰国者・接触者の方などの相談窓口です。(帰国者・接触者電話相談センター)

■平日/午後5時から翌日午前9時まで、土曜・日曜、祝日/終日は右記へ ▶ ☎5320-4592

心に関する
ご相談

☎3987-4174

平日/午前9時から午後5時まで

生活環境の変化などでストレスや不安を感じる方などの相談窓口です。(池袋保健所)

生活に関する
ご相談

☎4566-2466

平日/午前8時30分から午後5時まで

新型コロナウイルス感染症に伴う区の支援や取組みを案内する相談窓口です。

ご家庭内での悩み相談

- 子育てでイライラしてしまう、テレワークとの両立の難しさ、ゆううつで辛い、などの相談

東部子ども家庭支援センター

☎5980-5275

- 子どもやおおむね39歳までの若者の心配事についての相談

子ども若者総合相談「アシスとしま」

☎4566-2476

- 虐待などのドメスティック・バイオレンス(DV)の相談

配偶者暴力相談支援センター

☎6872-5250

特別定額給付金

一日も早くお届けできるよう準備を進めています。

概要

- 給付対象者／令和2年4月27日に住民基本台帳に記録されている者
- 受給権者／その者の属する世帯の世帯主
- 給付額／給付対象者1人につき10万円

申請方法

- ① 区から各世帯に申請書を送付(5月下旬を予定)
- ② 郵送、オンライン等で申請(申請窓口を設置予定)
- ③ 指定の口座に世帯分の給付金を振込

問い合わせ先 ☎03-4566-2466

- 平日／午前8時30分から午後5時まで

新型コロナウイルス感染症に対する豊島区の主な取組み

1 PCR検査センターの開設

PCR検査体制を拡充するため、豊島区医師会の協力を得て、4月28日から区独自のPCR検査センターを開設し、運用を始めました。

2 保健所の体制強化

「新型コロナウイルス感染症対策室」の人員を22人から44人に倍増し、「こころと体の相談電話」を開設しています。

3 小中学校のICT環境整備

休校中の教員と子供たちのコミュニケーションや家庭学習として活用できる、一人1台の専用端末のICT環境を整備します。

4 応急保育の実施

臨時休園期間中も、医療従事者等必要な方に、代替措置として応急保育を実施しています。期間中の保育料は無料です。

5 公共施設の休止

感染拡大防止のため、地域区民ひろばや図書館などの公共施設の休館、公園の遊具等の利用を制限しています。

6 喫煙所の対応

池袋駅周辺4か所の喫煙所を閉鎖しています。路上喫煙防止・環境美化活動とも両立させながら、感染拡大防止を進めます。

7 補正予算で対応を強化

12事業322億円の補正を組んで、迅速に対応いたします

主な事業

- 特別定額給付金(293.2億円) ・中小商工業融資(6.5億円)
- 住居確保給付金(5.3億円) ・国民健康保険傷病手当金(0.2億円)
- 子育て世帯への臨時特別給付(2.3億円)
- 学校ICT環境整備・活用(11.5億円)

新型コロナウイルスに関する、デマや風評には決して惑わされず、給付金を装った詐欺などにも十分注意してください。